



日本共産党 品川区議会議員 区政報告

のだて 稔史

ニュース

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

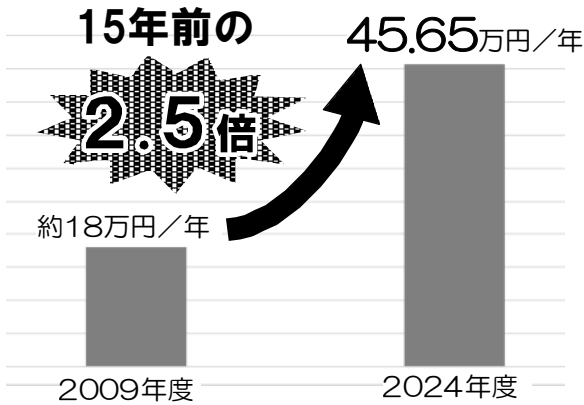
事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

過去最高の値上げ

1万4000円!?

高すぎる国保料は引下げを

40代夫婦、小学生の子ども2人の
4人世帯で年収300万円の場合



「国民健康保険料が高すぎて払えない」。切実な願いの陳情が区議会に出されました。共産党は賛成討論し、引き下げを求めました。

上がり続けてきた国保料

国保料引き下げを求める陳情には不況と物価高の下、国保料がどれほど過酷か訴えられています。

「年々滞納額が増え、完済する目途が立たない。永遠に払いきれないローン地獄の気分です。長生きしたくない」

「医者からは入院するよう言われているがお金がない」

「国保料を支払うために長時間働かなければならず、健康を維持するための保険が逆に健康を害するものになっている」

今年度の国保料は一人平均20万5600円/年で、1万4千円という過去最大の値上げです。しかも、昨年過去最大の値上げだったのを更新したのです。

4人世帯のモデルケース（左上図参照）で見ると15年間賃金は上がらないのに、国保料は値上げを続け2.5倍にされています。

年収300万円では家賃と税金を引くと残りは月13万円程です。そこから4万円も取るのが国保料。これが生活を追い詰める国保料の実態です。

この陳情に共産、れいわ、無所属が賛成。自公などが反対し、区民の願いに背を向けました。裏へ

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、38歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

国保料引き下げは難しい？

全国知事会も市長会も国保制度を持続できないと指摘し、23区区長会も危機的状況と述べ、国に対して①国庫負担割合の引き上げ、②低所得者の負担軽減、③子どもの国保料減免の拡大を求める提言を出さざるを得ない状況になっています。

子どもは無料に

国保だけが赤ちゃんからも保険料を取ります。協会けんぽ等は子どもの保険料はありません。1人6万5600円もの高額です。収入のない子どもからも保険料を取るの、まるで人類史上もっとも原始的で過酷な税とされる人頭税です。

ところが、品川区は国保に出していた一般財源を削減し続け、その分を国保料に転嫁し値上げを続けてきました。区が一般財源の投入を元に戻せば保険料は引き下げることができるのです。

質疑では「23区統一なので区

独自の引き下げは難しい」との発言が他党から相次ぎました。

しかし、すでに23区中4区が統一方式から外れて保険料を設定しています。区独自に国保料引き下げは可能なのです。

区で18歳までの子どもの国保料無料化に必要な額は1億5千万円で、品川の財政力なら十分可能です。最近では茨城県取手市が4月から始めました。子育て支援の観点からも無料にすべきです。

社会保障を自己責任とし、負担増を繰り返してきた自公政治が、国保制度そのものを崩壊させています。社会保障を充実させ、安心の仕組みで安心の暮らしをつくりましょう。



▲間仕切りやエアマット

自動ラップトイレ▶

3月9日、しながわ中央公園や中小企業センターで防災フェアが行われました。多くの方が訪れ、緊急車両の展示や防災グッズの展示などがありました。

間仕切りや自動ラップトイレは本物を間近で見られて良かったです。エアマットは空気をいれるのに1つ15分もかかり大変だと職員の方が説明してくれ、改善が必要だと感じました。いつ起こるかわからない地震への備えに向け自治体の予防策も更に進めて行きたいと思います

無料
法律相談

5月14日(火) 午後6時~8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。
できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674



▲ニュースのバックナンバーはこちらから